

● 広報

おぐい



2025

4

No. 846

上手に積めるかな? ~あそびの広場~

子育て支援センターでは、未就学児とその家族を対象に休日の遊びと交流の場を提供する「あそびの広場」を毎月第2土曜日に開催しています。

3月8日に健康管理センターで実施した「あそびの広場」では、子どもたちがボールプールやおままごと、ブロック積みなどで一緒に遊ぶ姿や保護者同士がおしゃべりを楽しむ姿が見られました。

令和7年度

施政方針

小国町議会3月定例会が3月6日から18日まで開催され、令和7年度のまちづくりの方針とその予算が決まりました。

令和7年度一般会計予算は87億8000万円で、特別会計と企業会計を合わせた全会計予算総額136億5183万3千円となりました。

今月は令和7年度におけるまちづくりの取り組みを示す施政方針と予算の主な概要を紹介します。

まちづくりの基本的考え方

令和7年度の予算編成に係るまちづくりの基本的な考え方として、地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の基軸である

1 白い森の国を担う「人」づくり
2 白い森の魅力を磨く

「環境」づくり
3 白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり

4 持続可能な行財政運営

の4つの柱に沿って施策を展開することとしています。施策の構築にあたり、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「住民の意見を聞くこと」という視点で精査した上で、限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成を行いました。

はじめに

現在、私たちは急速な人口減少や少子高齢化による地域社会の激しい変化、気候変動に伴う災害の激甚化、国際秩序の不安定化によるサプライチェーンの混乱など、これまでに経験したことがない多様かつ複雑な課題に直面しています。

このような時代にこそ、誰もが誇りと希望を持ち、安心して暮らせる「白い森の国おぐに」を実現するため、現在に至るまでの歴史を刻んできた先人たちの思いに心を寄せ、その精神に学びながら、新たな時代に向かって力強くまちづくりにまい進してまいります。

白い森の国を担う「人」づくり

■出産、子育ての負担軽減

出産、子育てに関する負担の軽減を図るため、定期妊婦健診費用を助成するほか、国の制度を活用した妊婦支援給付金と町独自の出産支援金を交付します。また、産後の心身不調や育児負担等の支援を行う産後ケアの体制確保や、乳幼児健診をはじめ両親学級、子どもの食育事業などを継続します。



▲遊びと交流の場を提供する「あそびの広場」（健康管理センター）

■保育料の完全無償化

従来の3歳から5歳児までの保育料の無償化に加え、本年度から拡充される県の支援制度を活用して、新たに0歳から2歳児の保育料を無償とし、保育料の完全無償化を実施します。

■子育て支援アプリの活用

前年度リリースした母子健康手帳と子育て支援機能を兼ね備えたスマートフォンアプリ「おぐに子育てアプリ『おぐにこ』」等を活用しながら、子どもの健康診断や各種予防接種の調整など利便性の向上に努めます。

■遊びと交流の場を提供

子どもの遊び場の確保と子育て世代の交流の創出を図るため、就学前の子どもとその保護者を対象に、毎月1回程

度、健康管理センターの休日開放を行います。

■学習用タブレットの更新

小中学生に一人一台配布している学習用タブレット端末について、計画的な更新を図ることとし、本年度は中学生用の端末を更新します。

■保小中高一貫教育の推進

質の高い教育環境を確保しながら児童生徒一人ひとりの力をはぐくむ「白い森おぐに保小中高一貫教育」を推進するため、学習支援員や学力充



▲昨年12月7日に開催された白い森おぐに教育フォーラムでは各校が活動内容を発表した

実支援員等のほか、ICT機器の専門家による支援の拡充などを進めます。また、教育相談員の配置や臨床心理士によるカウンセリングなどを継続し、個々に対応した適切な支援体制を維持します。

■小国高校魅力化の推進

山形県立小国高校では、「地域みらい留学365」及び「白い森留学」により、17人程度の留学生を受け入れる予定であるため、留学生が充実した高校生活を送られるよう、受入環境の整備や地域活動に対して支援を行うほか、留学生の寮生活を指導、サポートするハウスマスターを配置します。また、高校魅力化コードイネーターを配置し、学校と地域が協働する仕組みづくりを推進するとともに、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームと連携しながら、全国からの生徒募集活動を展開します。

■移住・定住の促進

SNSを活用した移住者による町の魅力の配信、移住を検討しているかたと地域とを結ぶマッチングサイトの運営などを通じて、情報発信の強化に取り組むほか、移住者が居住するために実施する空き家の改修費を支援します。

■次期総合センターの整備

次期総合センターの建設工事は、令和7年度内の完成を目指して着実に進めます。また、おぐに開発総合センターや町民プール、町民広場など周辺一帯の土地利用のあり方などを検討します。



▲（仮称）次期総合センター完成予定図

白い森の魅力を磨く「環境」づくり

■住環境整備の支援

住宅のリフォームに加え、ペレットストーブや薪ストーブの購入、合併処理浄化槽の設置などに対する支援を継続し、本町の自然条件や特性に適した住みやすい居住環境の整備を進めます。

■有害鳥獣被害への対策

鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲を行うとともに、ツキノワグマなどの出没要因となる不要果樹の伐採や、電気柵の設置、狩猟免許取得に要する費用の一部を助成します。

また、前年度に整備したAI鳥獣監視システムを活用し、周辺住民の安全確保や農作物被害防止につなげます。

■新潟山形南部連絡道路の整備促進

令和5年11月に山形県側の

10・6km区間が着工され、山

間部の道路改良や橋脚の建設など工事が進んでいる新潟山形南部連絡道路小国道路について、引き続き関係団体との連携強化を図りながら建設を促進するとともに、全線の早期完成に向けた運動を積極的

■JR米坂線復旧に係る要望活動

令和4年8月の豪雨により一部区間不通となっているJR米坂線について、米坂線整備促進期成同盟会をはじめ、関係機関や民間団体と連携しながら、国やJR等に対し、早期復旧に係る要望活動等に取り組めます。

■町道等の整備

町道長者原内川線、西田沢頭線の整備を継続するほか、前年度から実施している沼沢

地内の町道川下明沢線の道路拡幅に向けた用地測量及び詳細設計を行います。

また新たに、新股・河原角簡易水道の配水池に至る町道九才沢河原角線の改良工事並びに町道湯沢長者原線、長者原温身平線のうち長者原から奥川入までの舗装改修に着手します。

このほか、飯豊山荘手前の天狗橋ほか3橋の補修工事と栄町地内二の滝橋など4橋の補修設計を進めます。

■冬季間の安全安心な生活環境の確保

高齢者世帯の住宅周りや住宅道路の除雪経費を支援する



▲米坂線全線復旧を願って開催された米坂線絆まつり

特集 令和7年度施政方針および予算

ほか、町民税非課税の高齢者世帯等に対する、暖房用灯油購入費の助成を継続します。

■公共交通の運行

通院や買い物、学校の登下校等の利用実態と利用者のニーズに合わせ、より利便性の高い効率的なダイヤ編成に努めながら、町営バス3路線とデマンドタクシー4路線の運行を確保するほか、北部線のデマンド化に向けた検討を進めます。

■災害時の対応強化

自主防災組織の設立や活動を支援するとともに、要支援者個別避難計画の作成を推進し、災害時における自助、共助の体制づくりを誘導します。また、避難所における飲料水や非常食などの備蓄品を、計画的に更新配備します。

■上下水道および工業用水の維持管理

上水道事業では、設備や機器等の適正な更新による長寿

命化を図り、持続可能かつ安定的な水道事業の実現を目指します。本年度は、漏水調査及び配水管路の更新を実施するほか、兵庫館及び岩井沢地内に配水管仕切弁を設置し、漏水工事等の際に断水が生じる区域の縮小を図ります。

下水道事業では、令和2年度に策定したストックマネジメント実施計画に基づき、小国浄化センターの汚泥脱水設備を更新するほか、下水道管路台帳を電子化し、施設の長寿命化と管理の効率化に努めます。

工業用水道事業では、老朽化が進んでいる浄水場の電源装置を更新します。



▲東原地区住民によるバケツリレー（総合防災訓練）

白い森を舞台とする 活き活きとした「暮らし」づくり

■白い森まるごとブランド構想の実現
特産品のPRや都市部におけるプロモーション活動等を継続します。

また、デジタル技術を活用した新たな観光コンテンツ開発や「白い森おぐに」ファンが交流できる仕組みの構築に取り組みほか、町内宿泊施設等のテレワーク環境を活用した「ファミリーワーケーション」等を展開します。

さらに、町内民間事業者が実施する特産品やサービスの開発等の取り組みに対して支援するほか、ふるさと納税返礼品の充実に努めます。

■森林サービス産業創出の推進

関係者と連携しながら、本町の森林セラピー基地をはじめとした豊かで多様な森林資源を活かし、健康や食、文化、運動等を組み合わせた体験プ



▲企業向けのモニターツアーを実施（森林サービス産業）

ログラムの提供を推進するとともに、プログラムを活用する企業の誘致やガイドの育成に取り組みます。

■林業経営の振興

前年度までに実施した航空レーザー測量のデータによる森林資源解析の成果を活用して、森林境界図を作成するとともに、土地の所有者に対して今後の管理意向を調査するため、対象森林の抽出を行い、

適正な森林管理による林業振興につなげます。

■農業の担い手確保と育成

国の新規就農者育成総合対策事業費補助金及び本町独自の創農チャレンジ応援事業給付金により、就農初期段階の経営安定化を支援します。

■農村環境の保全活動支援

多面的機能支払事業を継続し、地域共同による農地や農業用施設の維持・管理活動と農村環境の保全活動を支えるほか、中山間地域等直接支払制度を活用し、農作物の生産条件が不利な傾斜地等での農業生産活動を支援します。

■農業所得と生産性の向上へ

水稻の生産振興の取り組みとして、作付け拡大につなげるため、肥料や農薬などの価格高騰への対応や品質水準の確保に必要な土づくり資材等の購入に対して支援します。

また、畜産農家の経営安定化と生産拡大を図るため、町有牛の貸し付けを行うほか、市野沢放牧場を引き続き開設するとともに、牧草地の整備に使用するトラクターを更新します。

■道の駅白い森おぐにの活用

芝生広場及び植栽したニッコウキスゲ7000本、リンドウ5000本等の適正な管理に努めることにより、憩いの場の創出を図ります。

さらに、誘客の拡大に向け、道の駅を拠点とした多彩なイ

ベントを開催するとともに町民花火大会を含めた夏まつりの開催を支援します。

■町内消費の拡大と産業振興

小国町商工会が実施するキヤッシュレス決済による町内の消費拡大の取り組みを支援するほか、白い森ショッピングセンターアスモにおける空き店舗の活用や賑わいづくりに取り組む小国いきいき街づくり公社に対する支援を継続します。

■人材確保に向けた支援

町内企業に就職した新社会人と町内企業に勤務している外国人労働者との交流会を開催するとともに、新社会人に就職祝い金を交付します。

■予防接種受診の支援拡充

乳幼児及び学童への定期予防接種や中学生までのインフルエンザ予防接種のほか、高齢者の新型コロナウイルスや

インフルエンザ、肺炎球菌に加え、新たに带状疱疹などの予防接種を支援します。

■健康寿命の延伸を目指して

生活習慣病や加齢に伴う心身機能の低下等を予防する新たな取り組みとして家庭の電気の使用状況から日常生活における活動量を推計し、個別に健康増進の働きかけを行います。

また、健康づくりに関する正しい知識の普及と生活習慣の改善を図るため、小国町健康まつりを開催します。



▲5年ぶりの夏まつりを楽しむ子どもたち



▲昨年10月23日に開催した健康づくり講演会

特集 令和7年度施政方針および予算

■介護医療院への 入所機能移行の推進

高齢化の進行に伴う介護・医療に係る需要の変化に対応するため、病院併設型小規模介護医療院に介護老人保健施設「温身の郷」の入所機能移行を進めます。

■がん患者を支援

医療用ウィッグや乳房補整具の購入費、山形大学医学部附属病院における公的保険の適用とならない重粒子線治療の受診を支援し、治療と就労の両立及び療育生活の質の向上を図ります。

■人工透析患者を支援

人工透析に係る送迎を実施し、町外に通院している透析患者の身体的、経済的な負担軽減を図ることにより、安心して通院できる環境を確保するとともに、送迎事業を利用されないかたへの交通費を助成します。

持続可能な行財政運営

■職員の人材育成と民間人材の活用

職員の人材育成として、内閣官房と一般財団法人地域活性化センターに各1人、また全国町村会主催の地域農政未来塾に研修生を派遣します。このほか、民間の知識や経験などを生かし、「白い森まるごとブランド構想」を推進するため、国の地方創生人材支援制度及び地域活性化起業人制度を活用した人材として、民間企業から1人を受け入れます。

■自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

前年度に整備した統合型地理情報システムの基盤を活用し、各種データのデジタル化と一元管理を推進し、行政事務の効率化を図るとともに、国が進める地方自治体の基幹

業務システムの標準化の取り組みを進めます。

■ふるさと納税の効果的な活用

各種の地域活性化に資する事業に活用し、本町を応援する多様なかたがたの思いが反映された施策を展開します。



▲ふるさと納税でいただいた寄付金は様々な事業で活用されています



▲統合型地理情報システムを業務に活かすため説明会を実施

むすびに

人工知能の加速度的な進化が社会全体に大変革をもたらすと言われていています。しかし、そのような時代にあっても、これから起こる変化を見通した上で、普遍的な価値を踏まえた社会を構築していくことが重要です。

そのような視点を持って、今年度もわくわくするまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

※施政方針の全文は町ホームページにて公開しております。

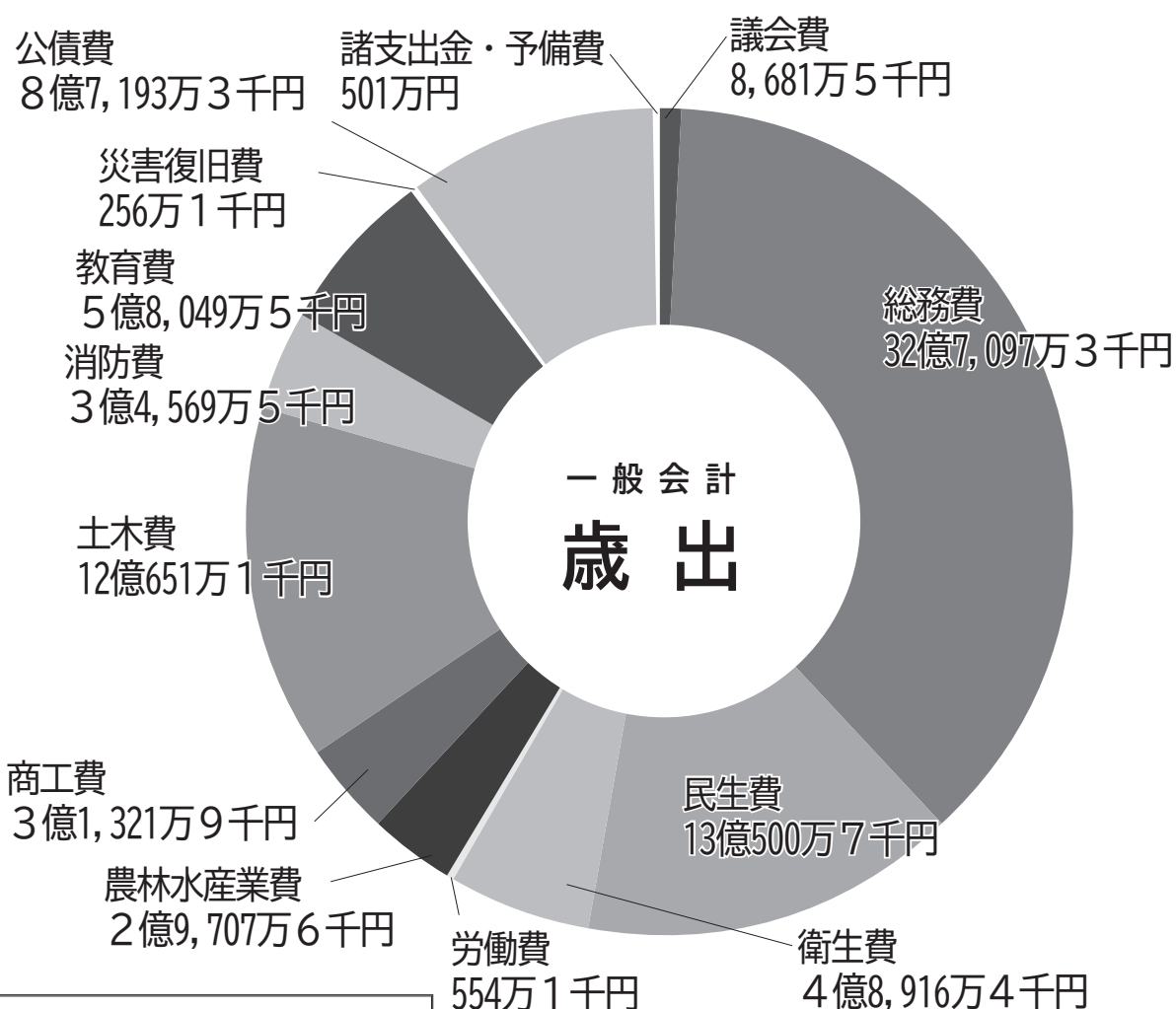


新年度予算概要

令和7年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は87億8,000万円。前年度より25.4%、17億8,000万円の増額となりました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた町予算の総額は、136億5,183万3千円。昨年度に比べ17億4,078万4千円（14.6%）の増額となりました。

歳入では、町税は町内中核企業の業績が安定していることや、企業の設備投資等の要因により、固定資産税の増額を見込んでおり、前年度比4.7%増の12億3,310万1千円となりました。歳出では、おぐに開発総合センターの老朽化に伴う次期総合センター建設事業などにより、総務費が前年度比68.6%増の32億7,097万3千円となりました。

※令和7年度予算については、4月17日の駐在員文書で配布される「令和7年度予算のあらまし」でも詳しく紹介しています。是非、ご覧ください。



語句の説明

【歳入】

- 町税 住民の皆さんや法人などに納めていただく税金（町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など）
- 地方交付税 市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税（所得税・酒税・消費税など）として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの
- 町債 町の借入金（借金）
- 国・県支出金 市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

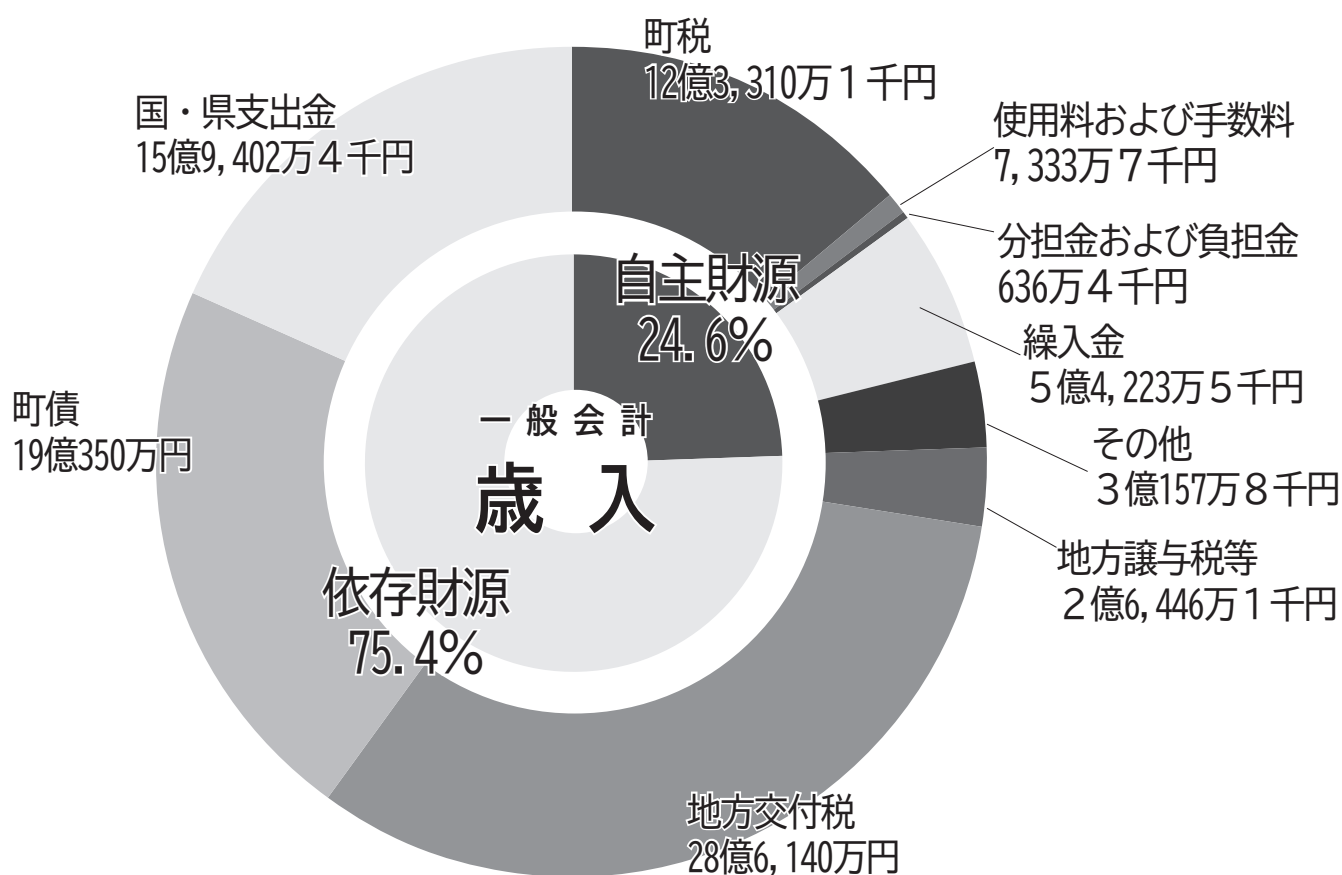
【歳出】

- 総務費 町の運営や選挙、地域づくりなどに関する経費
- 民生費 障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費
- 衛生費 生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 農林水産業費 農林水産業の振興・支援や基盤整備などに関する経費
- 商工費 商工業や観光振興のための経費
- 土木費 道路や河川、公営住宅、公園を整備・管理するための経費
- 教育費 教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費
- 公債費 事業を行うため借りた町債の元金・利息などを支払う経費

令和7年度予算

一般会計予算 87億8,000万円

(昨年度から17億8,000万円増額)



令和7年度各会計予算総額 **136億5,183万円 3千円**
(前年度比14.6%増)

【令和7年度各会計予算】

■一般会計 87億8,000万円 (25.4%)

■特別会計

国民健康保険事業	6億8,613万円	(▲2.0%)
部落有財産	9,304万円	(▲3.1%)
訪問看護	8,412万円	(13.4%)
介護保険	10億2,913万円	(▲6.6%)
後期高齢者医療	1億3,074万円	(▲4.0%)

■企業会計

病院事業	13億3,007万2千円	(0.2%)
老人保健施設事業	4億3,258万円	(1.8%)
水道事業	2億5,105万6千円	(27.0%)
工業用水道事業	1億5,935万1千円	(11.5%)
簡易水道事業	6,727万2千円	(51.2%)
下水道事業	6億834万2千円	(▲8.5%)



冬の小国を盛り上げる

白い森スノーフェスティバル

2月22日、道の駅白い森おぐにを会場に白い森スノーフェスティバルが開催されました。昨年好評だった着ぐるみを着て雪上を競走する「ティラノサウルスレース」が今年も開催され、参加者、観客ともに大いに楽しんでいました。

このほか、道の駅での特別メニューの提供や、横根スキー場のカップルデー、白い森未来フェスとしてスノーランタンづくりやヲタ芸パフォーマンスも披露されました。



▲転びながらもゴールを目指す参加者たち



▲幅広い年代の参加者がスノートレッキングを楽しみました

第27回 雪の学校

大自然と伝統文化を楽しむ

3月1日から2日にかけて、白い森交流センターりふれを主会場に雪の学校が開催され、県内外から18人のかたが参加しました。

地元マタギの案内で徳綱山を登るスノーレッキングや小正月の伝統行事であるさいず焼きを模した火まつりなどを体験したほか、郷土料理を味わうなど本町の持つ豊かな自然や雪国の文化に触れました。

また、1日目の夜には開校30周年の記念花火が打ち上げられ、参加者は冬の空に咲き誇った色とりどりの花火に歓声を上げていました。

小国町漁業協同組合主催

小国町漁協わかさぎ釣り大会

小国町漁業協同組合主催の「小国町漁協わかさぎ釣り大会」が3月2日、横川ダム「白い森おぐに湖」で開催され、町民15人が参加しました。当日は天候に恵まれ、テント釣りのほか、露天でワカサギ釣りを楽しむ参加者もいました。

このほか、一般の釣り客も複数訪れていたため、白い森おぐに湖では、色とりどりのテントが雪上に並び、美しい景色を見ることができました。



小中合同ボランティア

福祉施設に手作りのゴミ箱をプレゼント

3月5日、特別養護老人ホームさいわい荘など4つの福祉施設に町内の小中学生が手作りしたゴミ箱が贈呈されました。

これは、小中合同ボランティア活動の一環として実施されたもので、小国中学校生徒会ボランティア担当の川上白亜さん（3年生）は「以前、エコバッグを贈呈した際のアンケートでゴミ箱が欲しいという意見があり、作ってみました。みんなでコツコツと作ったものなので、大切に使ってほしいです」とお話ししてくれました。



第11回マタギの里小玉川雪まつり

雪の中の大冒険

小玉川地区自然教育圏整備促進協議会、小玉川地区青年団イチコロが主催する雪の中の大冒険が3月9日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催されました。

当日は家族連れなど約270人が来場し、雪の迷路での宝探しやスノーモービル体験といった冬ならではの遊びを楽しんでいました。また、8日には前夜祭として雪の迷路のライトアップや花火の打ち上げが行われ、訪れたかたの目を楽しませていました。



▲雪の迷路で宝探しをする子どもたち

地域学講座

PPバンドのカゴ編み教室

PPバンド（荷造り用ひも）を用いて基本的なカゴ（はけご）編みの手法について学ぶ教育委員会主催の地域学講座「PPバンドのカゴ編み教室」が3月13日と14日の2日間にわたり、おぐに開発総合センターで開催され、8人が参加しました。

参加者は講師の横山清雄さん（幸町）に編み方を教わりつつ、思い思いの大きさやデザインのはけごを編み上げていました。



挑め、ともに！

小国高校魅力化通信④

地域留学生と3年生による小国高校生活動報告会

2月27日(木)、小国高校生による活動報告会がおぐに開発総合センターを会場に行われました。

県外の高校に通う生徒が高校2年生の1年間で小国高校で過ごす「地域みらい留学365生」の井手吾南くん、大河忠斗くん、染谷柚乃さん、県外出身の生徒が小国高校で3年間を過ごす「白い森留学生」の佐藤秀亜さん、澤田旭くん、塚原朱李さん、堀野優母さん、三浦美桜さん、そして町内出身で小国高校3年生の代表生徒阿久津七香さん、伊藤琥次郎くんが小国高校での学びや思い出を語りました。

令和6年度は小国高校が白い森留学を開始してから3年目にあたり、今回発表した5人の生徒たちは、白い森留学生として最初の卒業生となりました。

〈生徒の発表(抜粋)〉

■井手吾南くん(地域みらい留学365)

1年間で最も印象に残っているのは「全国高等学校小規模校サミット」です。僕はサミット前日のレセプション(歓迎会・前夜祭)のリーダーを務めました。自分たちで企画を一から考え、友達や地元の人に協力してもらいながら作り上げたプログラムを、県外から参加してくれた生徒たちが楽しんでくれて、大きな達成感がありました。

■三浦美桜さん(白い森留学)

私は自然や社会問題に関心がある方ではありませんでしたが、学校の友達や地域の人など、身近な人たちが生活している環境に触れることで、身近に思えるようになりました。小国高校生のみんなは、

小国に戻ってくることを見据えつつ、町外や県外への進学や就職といった自分の将来を決めていました。地域の未来を考えて行動するその姿に、学ぶことが多くありました。

■阿久津七香さん(地元生)

私は小国高校に入学して、小国町に対する見方が変わりました。高校に入るまでは、小国は田舎で何もない町だと考えていました。しかし、県外出身の留学生との関わりや小国高校での活動を通して色々な魅力があることに改めて気づくことができました。



令和6年度緑のふるさと協力隊&地域おこし協力隊活動報告会

2月25日、ショッピングセンターアスモを会場に、令和6年度緑のふるさと協力隊&地域おこし協力隊活動報告会が開催され、町内で活躍する8人の隊員が日々の活動の内容や小国に対する思いなどを発表しました。

今年度末で任期終了となる北風隊員は木工技術を学ぶため長野県の専門校に入学することを、中原隊員は引き続き東部地区に残りゲストハウスを運営することをそれぞれ発表しました。



「3年間お世話になりました！」

地域おこし協力隊

かけはた 欠端
あやの 彩乃



▲念願だった雪の樽口峠を登りました

4月末をもって3年間の任期が終了します。振り返ればあっという間の3年間でした。隊員の変化もあり、いつの間にか女性隊員がいなくなってしまったときは心細かったです。でも、仲間として楽しく接してくれた隊員のおかげで、同じ目標を持ち、今後一緒に頑張っていきたいことを見つけることができました。

集落支援の協力隊ではなかったため、皆さんのお手伝いをする機会は少なく、直接的に地域の力になっているのか不安なときもありました。そんななか「広報読んだよ」などと声をかけてくださるかたもいて、「さらに頑張らないと」という日々の励みになっていました。外部の人を抵抗なく受け入れ、仲間のように接して下さる雰囲気は3年間協力隊を続けることができた理由だと思います。本当にありがとうございました。

「もう1年居ます！」

緑のふるさと協力隊

ささき ゆうま
佐々木 佑真

こんにちは！

緑のふるさと協力隊として4月10日に着任してから約1年が経ちました。本来であれば任期が1年限りのため3月末で終了となるのですが、色々あってもう1年間緑のふるさと協力隊をすることにしました。これからも色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、なにとぞよろしくお願いします。

改めて1年を振り返ると、「長くて短い1年」でした。これまでの人生で圧倒的にこの言葉が似合う濃い1年でした。

今年度がどんな1年になるのかとても楽しみです！



▲白い森ウィンタースポーツ大会のスノーボード競技に出場しました

令和7年小国町議会 第4回定例会

令和7年第4回定例会が3月6日から18日まで開催されました。令和6年度一般会計補正予算や令和7年度各会計予算、条例改正などが審議され、すべて原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般計から1915万4千円を減額

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施する福祉施設等へのエネルギー経費高騰支援や農業の経営強化及び担い手確保に向けた支援に要する経費、除排雪経費に要する経費等を増額したほか、決算見込み等に基づく不要額の減額を行いました。補正額は1915万4千円の減額となり、補正後の予算総額は、87億5360万1千円となりました。

除排雪経費の追加

除雪した雪が町道敷に高く堆積し、道幅が狭くなっている箇所があるほか、町道脇の農地や空き地などに積み上げ

た雪の処理が必要であるため、除排雪に要する経費を追加しました。

小国町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

今年度の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、令和7年度以降の一般職の給与について、所要の改正を行いました。

小国町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

今年度の人事院勧告に基づく人事院規則の改定に準じ、町職員の子の看護等の休暇の取得要件を緩和するなど、仕事と生活を両立しやすい職場環境整備を推進するため、所要の改正を行いました。

小国町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

今年度の人事院勧告に基づき一般職の給与改定を実施し

たことから、それに準じて会計年度任用職員の給料表を改定するとともに、期末勤勉手当について所要の改定を行いました。

小国町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

国が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、所要の改正を行いました。

小国町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、すでに無償としている3歳以上の児童に加え、0歳児から2歳児についても、特定教育・保育施設に係る利用者負担額の完全無償化を実施することとし、所要の改正を行いました。

小国町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

人口減少や高齢化の進行

生活様式の変化などの影響により、消防団員が減少傾向にあり、条例定員数から乖離した状態が続いていることから、定員数を見直すとともに、消防団員の要件として定めている「本町に居住するかた」に加え、「町内に勤務するかた」にも対象を拡大するため、所要の改正を行いました。

小国町簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

各簡易水道組合と施設の老朽化対策を含めた今後の安定的な給水を継続できる経営基盤強化を目的に、料金改定に向けた協議を進めてきたところ、6つの簡易水道において、料金改定の同意を得たことから、それぞれの簡易水道の料金表を増額改定しました。

小国町斎場の指定管理者の指定について

本年3月31日をもって指定管理期間が満了となる小国町斎場について、合資会社山佐を指定管理者として指定しました。

児童手当等制度のご案内

次の手当等の対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	出生から高校生年代の児童を養育しているかた ※令和6年10月から所得制限が撤廃されました	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は児童を養育しているかた。父・母が重度の障がい者である家庭	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた (疾病による内部障がいも該当する場合があります)
手当月額 R7.4現在	・3歳未満 第1子・2子 15,000円 第3子以降 30,000円 ・3歳～高校生年代 第1子・2子 10,000円 第3子以降 30,000円	小学生 2,000円 中学生 3,000円 高校生 3,500円	46,690円～11,010円 2人目以降の加算額 11,030円～5,520円	1級 56,800円 2級 37,830円
支給期間	出生から18歳到達後最初の3月31日まで(申請月の翌月から支給)	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで(在学期間中のみ)	児童が満18歳に到達する年度末まで(一定の障がいがある児童の場合は20歳未満)	児童が満20歳に到達する月まで
支給月	4・6・8・10・12・2月	9・3月	5・7・9・11・1・3月	4・8・11月
現況届等	毎年6月に町から提出依頼があったかたのみ	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合先 健康福祉課(☎61-1000)へ

令和7年度 乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。

当日は、母子健康手帳を持参してください。

◇問合先 健康管理センター(☎61-1000)へ

■3・4カ月児健診 受付13:10～13:20

■9・10カ月児健診 受付13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	3・4カ月児	9・10カ月児
5月9日(金)	R6年12月、 R7年1月生まれ	R6年6月、7月生まれ
7月4日(金)	2月、3月生まれ	8月、9月生まれ
9月5日(金)	4月、5月生まれ	10月、11月生まれ
11月7日(金)	6月、7月生まれ	12月、R7年1月生まれ
1月9日(金)	8月、9月生まれ	2月、3月生まれ
3月6日(金)	10月、11月生まれ	4月、5月生まれ

■フッ素塗布 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診で希望されるかたに行います。そのほか、おおそ2歳、3歳になるかたにもフッ素塗布を行っていますので、町ホームページをご確認ください。

■1歳6カ月児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
6月6日(金)	R5年9月、10月、11月、12月
10月10日(金)	R6年1月、2月、3月、4月生まれ
2月6日(金)	R6年5月、6月、7月、8月生まれ

■2歳児歯科健診 受付13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
6月18日(水)	R4年9月、10月、11月、12月生まれ
10月22日(水)	R5年1月、2月、3月、4月生まれ
2月18日(水)	R5年5月、6月、7月、8月生まれ

■3歳児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月11日(金)	R3年8月、9月、10月、11月生まれ
8月8日(金)	R3年12月、R4年1月、2月、3月生まれ
12月5日(金)	R4年4月、5月、6月、7月生まれ

小国町地域計画を策定しました

町では、農用地の効率化や総合的な利用を図っていくため、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）を定めました。地域計画は、町内を5つの地区に分け、それぞれに現状や課題、取り組みなどを地域の農業者等との協議を踏まえて策定したものです。

地域計画の内容については、個人情報に配慮した上、町ホームページにて公表しております。

■農用地の適正な管理のために

農用地は、適正に管理していくため、農地法や農業振興計画、地域計画など各法令でそれぞれ取り扱いが定められています。農用地に家を建てるなど、農用地を農業以外の用途で使用する際には、事前に農地転用許可や農振農用地の除外許可など、各法令に基づいた許可等が必要です。

根拠となる法令によって、必要な書類をそろえ、許可を得るまでに相当な期間を要することがあります。また、許可の手続きが必要なことを知らずに着手してしまうと、法令違反になります。農用地を農業外に利用する計画があるかたは、検討段階から農林振興課農地調整担当までご相談ください。

■問合先 農林振興課農地調整担当（☎62-2408）へ

「自生山菜」の放射性物質に注意

過去に、県内の他市町村で採取された「コシアブラ」から基準値を超える放射性物質が検出されております。これから「自生山菜」の発生時期を迎えますので、次のことに注意してください。

- ①「自生山菜」を出荷・販売される際は、出荷前に自主検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には「インターネット等による通信販売」も含まれます。
- ②森林所有者や地域住民の管理している場所などがありますので、確認を行ってから採取するようにしてください。

■問合先 山形県農林水産部森林ノミクス推進課林産振興担当（☎023-630-2526）または置賜総合支庁森林整備課普及担当（☎0238-26-6065）へ

令和7年度健康管理センター作品展の出展の募集について

それぞれの活動において制作された作品をご出展していただける個人、団体を募集します。

■展示期間

4月1日～令和8年3月31日の間で2週間程度

■場所

健康管理センター入口ロビー（パネル5枚程度）

■申込期間 随時受付します。

■展示作品について それぞれの活動において制作した作品（絵画、写真、陶芸作品等）

■その他 申込時に出展者名、代表者、住所・電話番号、展示内容、ご希望の展示時期をお聞きます。展示の飾りつけ、取り外し、管理等は各自でお願いします。

■問合先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

故仁科清實さん 叙位（正六位）受章



元沖庭小学校校長の故仁科清實さん（尻無沢）が叙位を受章され、3月14日ご遺族に伝達されました。

仁科さんは昭和23年に北小国村立北小国中学校で教職につかれてから、小国中学校や北部中学校等で教鞭をとった後、昭和55年に南部中学校兼ねて玉川小学校の校長となり、昭和58年から退職される昭和62年までの4年間は地元である沖庭小学校校長を務められました。

また、退職後には小国町選挙管理委員長や小国町文化財調査委員会委員を務められ、公正な選挙の執行管理や本町の文化財保存、活用に尽力されるなど、各方面で大きく貢献をされました。

後期高齢者医療保険料の保険料率等について

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に2年ごとに見直しが行われ、令和6年度改定されていましたが、一定以下の所得のかた等について激変緩和措置が講じられていました。

その緩和措置が終了したことにより令和7年度の保険料率及び保険料の賦課限度額は次のとおりになります。

【保険料率（令和4・5年度 → 令和6・7年度）】

▽所得割率（所得に応じて負担していただく分を算定する際の率）

8.80% → 9.43%

▽均等割額（加入者が公平に負担していただく分）

4万3,100円 → 4万7,600円

【保険料の賦課限度額（令和6年度以降）】

▽賦課限度額 66万円 → 80万円

■その他

制度改正の内容や保険料率等の詳細は、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されます。

■問合せ 町民課国保医療担当（☎62-2260）へ

就職や退職で健康保険が変わったら

健康保険が変わったかたは国民健康保険の手続きが必要ですので、役場町民課窓口までお越しください。（マイナンバーカードを保険証としているかたも必要です）

【退職等で職場の健康保険をやめたかた、健康保険の扶養家族でなくなったかた】

○持ち物

- ①職場等から交付された資格喪失連絡票
- ②年金手帳または基礎年金番号通知書（60歳未満のかたのみ）
- ③マイナ保険証の登録状況がわかるもの（マイナンバーカードと暗証番号、マイナポータル画面など）

【就職などで職場の健康保険に加入したかた】

○持ち物 職場等から交付された資格確認書または資格情報のお知らせ

■保険証等の利用について

国民健康保険以外の健康保険に加入すると、新しい健康保険の資格を取得した日から国民健康保険の保険証または資格確認書等は使用できませんのでご注意ください。

■問合せ 町民課国保医療担当（☎62-2260）へ

ファミリー・サポート・センター会員募集

子育てのお手伝いをしてほしい人（利用会員）と子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）が会員登録し、子育ての相互援助を行うファミリー・サポート・センターを利用してみませんか。

■援助内容

保育施設等の開始時間前や終了後の預かり、習い事への送迎、冠婚葬祭、学校行事の際の預かり、保護者がリフレッシュしたいときなどに利用できます。

■会員資格（本町に住所を有するかた）

- ・利用会員 小学校6年生以下の子どもの保護者
- ・協力会員 どなたでも
- ・両方会員 両会員を兼ねることもできます。

■利用料金

- ・平日 7:00～19:00 600円／1時間
それ以外 700円／1時間
- ・土日祝 すべての時間 800円／1時間

■申込方法 健康福祉課で会員登録手続きを行ってください。

■申込・問合せ 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

病後児保育室「にこにこ」のご案内

病後児保育室「にこにこ」では、病気の回復期にあり、集団または家庭での保育が困難な子どもを健康管理センター内の専用保育室で、看護師と保育士が連携してお預かりします。

熱は下がったが、大事をとって保育園や学校を休ませたいときや、怪我をして保育園や学校を数日休まなければいけないが保護者が休めない場合などにご利用ください。

■対象児童

- ・町内に住む1歳から小学校3年生までの児童
- ・保護者が町内の事業所に勤務している町外に住む1歳から小学校3年生までの児童

■預かり期間 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
8:00～18:00

■利用料金

- ・1日あたり…2,000円／1人
- ・5時間以内…1,000円／1人

■問合せ 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）または病後児保育室（☎090-7070-8691）へ

詳細は町ホームページをご確認ください↓



令和7年度 小国町住宅リフォーム総合支援事業費補助金について

■補助要件

- ①「寒さ対策・断熱化」、「バリアフリー化」、「克雪化」、「県産木材使用」のいずれか1つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと
- ②町内に住所を有するかたで、自身が町内に所有する住宅等にかかる工事であること
- ③工事施工にあたり、県内業者と請負契約を締結すること
- ④工事に要する費用が10万円以上であること
- ⑤令和8年1月末までに完了する工事であること
- ⑥町税等に滞納がないこと
- ⑦申請前に工事を着工していないこと



■補助金額

- ◎一般世帯：リフォーム工事費の10%（上限12万円）※町内業者と契約する場合は、工事費の20%（上限24万円）
- ◎一定の条件を満たす「新婚」、「移住」、「子育て」世帯等：リフォーム工事費の15%（上限15万円）
- ※町内業者と契約する場合は、工事費の30%（上限30万円）

■申込方法 補助金交付申請書に必要な書類を添えて、地域整備課に提出してください。申請書は地域整備課にあります。受付は申請順で、町の予算の範囲内で助成します。

■募集開始 4月14日(月)～

■問合先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

法務局からのお知らせ

長井市役所1階に、法務局が発行する証明書交付窓口を設置しております。ぜひご利用ください。

■設置場所 長井市役所1階「長井法務局証明サービスセンター」

■利用時間 平日9時～12時・13時～16時30分

■取扱業務

- ①不動産及び会社・法人の登記事項証明書
※地図及び各種図面等の写しの請求はできません。
※会社・法人の登記事項証明書請求の際に印鑑カードをお持ちいただくと便利です。
※不動産及び会社・法人の要約書の請求はできません。
- ②会社・法人の代表者事項証明書及び印鑑証明書
※印鑑証明書請求の際には、印鑑カード及び代表者の生年月日が必要となります。
- ③動産譲渡登記及び債権譲渡登記の概要記録事項証明書

■問合先 山形地方法務局米沢支局（☎0238-22-2148）へ

4月10日(木)は児童手当の支給日です

指定された請求者名義の口座に振り込みますのでご確認ください。

児童手当は年6回偶数月の10日に、前月までの2カ月分を支給します。10日が土日祝日の場合はその直前の平日に支給します。

■問合先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

合併処理浄化槽の設置補助

■対象 町公共下水道認可区域外の住宅で、汲み取り便槽または単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に替える工事をする場合。

■補助金額

5人槽43万8千円／6～7人槽53万3千円

※単独処理浄化槽からの切り替えの場合、配管工事費を対象に30万円（上限）を加算します。また、リフォーム（新築以外）で設置する場合は県の上乗せ補助があります。

・5人槽 20万8千円（上限）

・6～7人槽 25万9千円（上限）

■その他 新築で合併処理浄化槽を設置する場合は補助要件があるので、お問合せください。

■問合先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

固定資産税課税台帳の閲覧・土地家屋価格等帳簿の縦覧

令和7年度固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。この機会に所有する資産をご確認ください。

■期間 4月1日(火)～6月2日(月)（土日祝日除く）

■時間 8時30分～17時15分

■場所 役場 税務課

■問合先 税務課税政管理室（☎62-2403）へ

こころの健康相談

置賜保健所では、こころの健康に関する相談を実施しています。

- 日時 4月9日(水)、16日(水) 9時30分～11時
- 場所 置賜総合支庁本庁舎
- 対象者 こころの健康に関してお悩みをお持ちのかた及びその家族
- 内容 精神科医師または保健師による個別相談
- 利用方法 各相談日の2日前までにご予約ください。
なお、保健師による相談は随時受け付けています。
- 申込・問合せ先 置賜保健所地域保健福祉課精神保健福祉担当（☎0238-22-3015）へ

春季火災予防運動

- 春季火災予防運動を4月9日(水)～22日(火)までの14日間実施します。期間中、防災ラジオにより、注意喚起の放送を行います。また、12日(土)14時～16時まで小国町消防団の消防ポンプ自動車が出発式を行い、火災予防のため町内防火パレードを実施します。
- 空気が乾燥し火災が発生しやすい時期となり、全国で大規模な林野火災が多発しています。林野火災の大部分は皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、火気の取り扱いには十分注意しましょう。
- 問合せ先 町民課（☎62-2261）または消防署小国分署（☎62-2154）へ

林野火災特別警戒実施中 ～火気の取り扱いに注意を～

本年3月に発生した岩手県大船渡市における大規模林野火災や昨年の南陽市での林野火災など、近年例を見ない大規模な林野火災が頻発していることを踏まえ、山形県では3月4日(火)から4月30日(水)までを「林野火災特別警戒期間」として林野火災の防止に取り組んでおります。

昨年の管内の発生状況につきましても、1年間で発生した件数の半数以上が4月と5月に集中して発生しております。強風注意報や乾燥注意報等が発表されている際は、火災が発生する危険性が非常に高いので、火の取り扱いには十分ご注意ください。

愛犬に狂犬病予防注射を！

実施日	会 場	時 間
4月14日(月)	叶水基幹集落センター前	9：00～9：15
	沼沢駅前広場	9：35～9：45
	伊佐領会館前	9：55～10：05
	種沢公民館駐車場	10：15～10：25
	宮の森会館前	10：40～11：00
	旧沖庭小学校昇降口前	11：10～11：30
	多目的屋内運動場「あいべ」駐車場	13：30～14：30
4月15日(火)	白井森交流センターりふれ駐車場	10：00～10：15
	小国町役場 東側駐車場	10：45～11：45

- 犬を飼っているかたへ～マナーを守りましょう～
- ・放し飼いは禁止されています。つないで飼うようにしてください。
 - ・散歩は必ず引き綱を付けて下さい。
 - ・犬の散歩をするときは、糞を必ず持ち帰りましょう。

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けてください。

- 持参するもの
集合注射料金3,500円（釣銭なし）、予防注射の問診表（記載の上）
- 犬の登録について
犬を飼う場合は、町への登録が必要です。住所変更や死亡等があった場合は、事前に手続きをしてください。
- 注意点
注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかたが連れてきてください。
- 問合せ先
町民課町民生活担当（☎62-2261）へ



お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

- ◎対象 3DK 4戸(1階、2階、4階)
- ◎家賃 世帯状況に応じた所得制限あり
- ◎敷金 所得により決定
- ◎募集期限 家賃の3カ月分
- ◎入居時期 4月10日(木)
- ◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431)へ

危険物取扱者試験準備講習会のご案内

日時

- ①乙種第4類 5月21日(水) 9時30分～16時30分
- ②丙種 5月22日(木) 9時30分～16時30分

- ◎会場 長井市民文化会館
- ◎定員 乙種第4類 50人
- ◎丙種 20人

- ◎申込期間 4月7日(月)～5月9日(金)※先着順

- ◎問合先 消防署小国分署(☎62-2154)へ

危険物取扱者試験および消防設備士試験の実施について

【危険物取扱者試験】

◎試験の種類

甲種・乙種(全類)・丙種

◎試験日 6月14日(土)

◎場所 米沢鶴城高校

◎受付期間

4月18日(金)～5月1日(木)

【消防設備士試験】

◎試験の種類

甲種(全類)・乙種(全類)

◎試験日 5月24日(土)

◎場所 山形ビッグウイング

◎受付期間 4月4日(金)～17日(木)

◎受験申請方法 電子(インターネット)、書面(持参・郵送)

◎その他 他の試験日程等の詳細は(一財)消防試験研究センター山形県支部のホームページをご覧ください。

◎申請・問合先 (一財)消防試験研究センター山形県支部(☎023-631-0761)へ

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちのかたへ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、

免状交付の日から10年ごと写真の書換えをしなければならぬ規定となっております。

免状の写真下欄記載の期限を確認の上、速やかに手続きをされるようお知らせいたします。

- ◎問合先 (一財)消防試験研究センター山形県支部(☎023-631-0761)へ

『やまがた縁結びたい』による結婚相談会

- ◎日時 4月12日(土) 13時～16時45分

◎場所 やまがたハッピーサポートセンター置賜支所(米沢市)

◎対象 結婚を希望するかた

またはそのご家族(予約制)

◎内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などについて個別相談

◎その他 県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」募集中。詳しくはホームページをご覧ください。

- ◎問合先 やまがたハッピーサポートセンター(☎023-687-1972)へ

令和7年度農業経営実践講座受講生募集

農業を新しく始めたかたやさらなる技術取得等を目指す農業者のかたを対象に講座を開講します。

◎開講講座 大豆づくり基礎／さくらんぼ栽培／シャインマスカット栽培／なす栽培／啓翁桜栽培／乳用牛及び肉用牛の飼養管理／農業簿記／農産加工基礎

受講料 無料(教材費等実費負担の場合あり)

◎申込期限 随時受付(途中からの受講も可)

◎申込・問合先 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課(☎0238-88-8215)へ

山形財務事務所「借金返済に関する窓口」のご案内

◎受付時間 8時30分～12時13時～16時30分

月々金曜日(祝日・年末年始を除く)

◎相談専用電話番号 ☎023-641-5201

◎問合先 山形財務事務所 財課へ

外線電話の通話録音を実施します

行政サービスの向上、公正かつ適正な業務執行の確保等を目的として、令和7年4月から、役場本庁舎における外線電話の通話録音を実施します。

役場代表電話や各課直通電話に電話をおかけいただくと、録音をお知らせするアナウンスが流れ、その後電話がつながり、録音が開始されます。なお、役場からの発信の場合はアナウンスは流れませんが、通話は録音されます。

録音したデータは、個人情報の保護に関する法律及び小国町個人情報の保護に関する法律施行条例を遵守し、適切に管理します。

■問合先 総務企画課管財担当（☎62-2112）へ

求 人 情 報

右の表は3月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人
を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
日本テクノ 株式会社	電気主任技術者/高畠町/川西町/小国町	3人	9:00~18:00
	電気主任技術者/高畠町/川西町/小国町(嘱託)	3人	
荒川興業 株式会社	経理事務	1人	8:20~17:10
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職(交替制)	1人	変形労働時間制 6:45~15:45他
	看護職	1人	交替制(シフト制) 8:30~17:30他
株式会社 高橋工務店	一般事務、経理事務	1人	8:00~17:00
	ダンプトラック運転手	1人	変形労働時間制 8:00~17:00
	現場作業員(土木・建築作業員)	2人	
遠藤建設 株式会社	土木施工管理技士	1人	変形労働時間制 8:00~17:00
	一般作業員	2人	
ハイコー 株式会社	電気工事(見習い可)	3人	7:45~17:15
安部工業 株式会社	一般作業員(土木・建築)	2人	8:00~17:00
	運転手(型枠資材運搬)	1人	
	型枠大工	1人	
	現場監督員	1人	
株式会社テラスエンジニア	(請)電気技術者(山形県西置賜郡小国町)	1人	8:30~17:15
クアーズテックマシナリ 株式会社	技能職	4人	8:20~17:10
クアーズテック合同会社 小国事業所	総務担当	1人	フレックスタイム制 8:20~17:10
	品質管理担当	1人	
	工務・インフラ担当(主任級・機械系)	1人	
	工務・インフラ担当(主任級・電気系)	1人	
大河内産業 有限会社	解体補助作業員【未経験者応募歓迎】	2人	8:00~17:00
	一般作業員【未経験者応募歓迎】	2人	
	一般事務員【未経験者応募歓迎】	1人	
モメンティブ・テクノロジー・山形株式会社	R&Dエンジニア/山形県西置賜郡 ※年間休日数:125日	1人	フレックスタイム制 8:20~17:10
北仲自動車工業 株式会社	自動車整備工	1人	変形労働時間制 8:20~17:20
株式会社 コメリ	販売・店舗運営職(リージョナル社員)	1人	変形労働時間制 8:45~18:00他
セキュリティプレシヤス株式会社	警備員(交通誘導警備、雑踏警備)	3人	交替制(シフト制) 8:00~17:00
特別養護老人ホーム さいわい荘 (社会福祉法人 小国福祉会)	朝食介助員パート(未経験者 応募可・事前見学可)	1人	7:15~9:15
日本・アルカディア・ネットワーク株式会社(JAN)	(臨)ICT支援員	2人	8:30~17:30 の間の4時間以上
置賜森林管理署	(臨)林業業務	9人	8:30~17:15

今月の納税 2025.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 4月28日(月)

水道料、下水道料、簡易水道料

● 4月30日(水)

軽自動車税、介護保険料、住宅使用料、児童福祉使用料

■問合先

税務課税政管理室
(62-2403) へ



戸籍のまど

（ 2 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

小国小坂町 梶 本 陽 丈（陽 介）
 小国町 明 石 美 蘭（万 実）
 小国町 清 野 莉 央（佑 奈）

結婚おめでとうございます。

（ 天 童 市 井 苺 一 也
 松 岡 伊 藤 千 尋

おくやみ申し上げます。

小国小坂町 渡 邊 さく い (96)
 若 山 舟 山 ふ さ 子 (73)
 幸 町 須 貝 文 子 (86)
 岩 井 沢 関 本 孝 子 (78)
 松 岡 伊 藤 奈 保 子 (65)
 兵 庫 館 舟 山 金 子 (92)
 玉 川 中 里 舟 山 秀 信 (65)
 岩 井 沢 齋 藤 み ち 子 (95)
 太 鼓 沢 鈴 木 弘 (92)
 焼 山 渡 部 と き 子 (76)
 五 味 沢 小 池 金 吾 (87)
 増 岡 奥 村 廣 (74)
 兵 庫 館 國 分 て い (96)
 大 石 沢 高 橋 初 太 郎 (100)
 兵 庫 館 土 屋 タ ミ (89)
 沼 沢 小 池 す み 糸 (97)
 舟 渡 日 下 信 三 (89)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和7年2月28日現在）

人口 男・・・3,281人（－7）
 女・・・3,217人（－13）
 計・・・6,498人（－20）
 世帯数 2,919世帯（－9）

子育て支援センターから

■4月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所：子育て支援センター（アスモ内） 10日休、17日休、24日休は健康管理センターで実施します	不要
あそびの広場	4/12(土)	9:00～11:30・13:00～16:00 場所：健康管理センター	不要
おしゃべり カフェ	4/24(木)	10:00～11:30・健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点 体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター（☎090-9015-8330）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇DTOPIA 安 堂 ホ セ
 ◇コンビニ兄弟 町 田 そ の こ
 ◇ごはんが楽しみ 井 田 千 秋
 ◇こうして、人は老いていく 上 村 理 絵
 ◇にぎやかな過疎をつくる 小 田 切 徳 美

～除籍本の提供について～

蔵書点検で発生した除籍本を提供します。誰でも自由に何冊でも持ち帰ることができます。

■期間 4月8日(火)～20日(日)

■場所 おぐに開発総合センター1階

■問合先 教育振興課(☎62-2141)へ

編集後記

昨年5月から始めた「写真で振り返る白い森の国おぐに」ですが、今月号を持って連載が終了します。毎月、写真にまつわるエピソードを探し、時には町民のかたにお話をうかがい記事を作成してきました。これまで協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。さて、私事でありますが、広報担当を交代することになりました。様々なことに協力いただき、2年間広報担当として頑張ることができました。ありがとうございます。（阿部）



●小国町役場 代表（総務企画課） ☎ 62-2111 代 fax62-5464

●行政管理室 ☎ 62-2112
●商工労働政策室 / 観光交流推進室 ☎ 62-2416
●住民窓口室 ☎ 62-2260
●建設管理室 ☎ 62-2431

●企画財政室 / 次期総合センター建設推進室 ☎ 62-2264
●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
●町民生活室 ☎ 62-2261
●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
●農林振興室 ☎ 62-2408
●税政管理室 ☎ 62-2403
●議会事務局 ☎ 62-2448

町職員の仕事異動

〔一〕は前職

■退職（3月31日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師 李宇鐘▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師菊地浩平▼農林振興課地域計画策定指導専門員山重浩▼農林振興課農林施設基盤保全専門技術員渡邊久光▼健康福祉課主査梅津里美▼町立病院看護専門員長坂幸子▼町立病院主任臨床検査技師船山美雪▼地域整備課建設管理室長（兼）建設管理担当主査廣瀬孝徳▼教育振興課学校教育部員（兼）指導主事高野佳樹▼教育振興課主事益田圭汰▼教育振興課主事楠山科凱▼町立病院診療情報管理士廣瀬まり子▼町立病院看護師安部みち子▼訪問看護ステーション理学療法士（兼）介護老人保健施設理学療法士齋藤成也

■新規採用職員（4月1日付）

▼教育振興課学校教育専門員（兼）指導主事岡貴翔▼地域整備課主事補佐藤春子▼教育振興課主事補蛇原一平▼議会事務局書記補（併）監査委員事務局書記補渡部瑞葵

■併任（4月1日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師 平田美咲▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師平田裕太郎

■特別任用（4月1日付）

▼政策企画監（兼）総務企画課長（兼）次期総合センター建設推進主幹佐藤友春【総務企画課長（兼）次期総合センター建設推進主幹】▼商業政策監（兼）産業振興課商工労働政策室長磯部俊二【産業振興課長】▼議会事務局長（併）監査委員事務局局長益田則幸

■再任用（4月1日付）

▼健康福祉課居宅介護推進指導員木村広英▼産業振興課観光経済指導員加藤康浩▼産業振興課白い森ブランド推進指導員仁科清春▼農林振興課農地農業振興指導員齋藤勉▼農林振興課農林施設保全指導員渡邊久光▼町立病院看護指導員長坂幸子▼町立病院臨床検査指導員船山美雪

院看護指導員長坂幸子▼町立病院臨床検査指導員船山美雪

■昇任昇格（4月1日付）

◎課長級 ▼町立病院診療部長（兼）歯科医 長飯田俊也【町立病院歯科医長】▼税務課税政管理主幹（兼）税政管理室長木村英和【町民課町民生活室長 兼 危機管理主幹補佐】▼町民生活担当主査【総務企画課企画財政主幹（兼）企画財政室長高橋俊典【教育振興課高校魅力化推進室長】▼町立病院看護部長今友麻子【町立病院看護副部長】

◎補佐・室長級 ▼町民課危機管理主幹補佐（兼）危機管理担当主査河内亮【町民課危機管理担当主査】▼健康福祉課健康長寿推進室長（兼）地域包括支援センター次長丹山亜樹【会計室会計主査】▼介護老人保健施設事務次長（兼）介護老人保健施設庶務主査鎌田泰子【介護老人保健施設庶務主査】▼町立病院医療安全管理室長（兼）地域健康看護主査（兼）外来看護主査（兼）地域医療連携外来看護師長（兼）医療安全管理者三須千春【町立病院看護師長（兼）地域医療連携看護師長看護師長】▼町立病院地域医療連携室長（兼）病棟看護主査（兼）地域医療連携看護師長丹山さゆり【訪問看護ステーション看護師長（兼）町立病院看護師】

◎主査・係長級 ▼健康福祉課中央児童室放課後児童支援主査伊藤久美子【教育振興課中央児童室放課後児童支援係長】▼教育振興課学校教育部担当主査安部淳【総務企画課DX推進担当係長】▼総務企画課自動車運転長米野幸宏【総務企画課主任自動車運転手】▼町立病院総務主査木村綾【町立病院総務係長（兼）訪問看護ステーション庶務係長】▼町立病院地域医療連携室主査今由美【町立病院地域医療連携室係長】▼町立病院NST褥瘡対策係長米野早苗【町立病院主任看護師】▼町立病院放射線技師長伊藤真理【町立病院主任放射線技師】▼訪問看護ステーション看護師長（兼）町立病院看護師小田綾【町立病院主任看護師】

◎主任級 ▼町立病院主任薬剤師堺和幸【町立病院薬剤師】▼町立病院主任歯科衛生士木村さくら【町立病院歯科衛生士】

◎主事級 ▼町民課主事遠藤怜奈【町民課主事補】

■配置替え（4月1日付）

◎課長級 ▼町民課長（兼）危機管理主幹青木伸幸【産業振興課白い森ブランド戦略主幹（兼）白い森ブランド戦略室長（兼）観光交流推進室長（兼）商工労働政策室長】▼健康福祉課課長（兼）包括ケア推進次長（兼）健康福祉センター所長（兼）地域包括支援センター所長（兼）子育て支援センター所長（兼）病後児保育室長（兼）中央児童室長瀬齊知倫【町民課長（兼）危機管理主幹】▼産業振興課長（兼）白い森ブランド戦略主幹（兼）白い森ブランド戦略室長（兼）観光交流推進室長丹山真次【健康福祉課長（兼）包括ケア推進次長（兼）健康福祉センター所長（兼）地域包括支援センター所長（兼）病後児保育室長】▼総務企画課行政管理主幹佐藤ひとみ【健康福祉課福祉政策主幹（兼）福祉政策室長】▼教育振興課高校魅力化推進主幹（兼）高校魅力化推進室長渡部由美【地域整備課建設管理主幹（兼）新潟山形南部連絡道路建設促進室長】

◎補佐・室長級 ▼町民課町民生活室長（兼）町民生活担当主査小池みどり【税務課税政管理室長】▼健康福祉課福祉政策室長渡部寿郎【総務企画課企画財政室長】▼地域整備課建設管理室長（兼）新潟山形南部連絡道路建設促進室長（兼）健康福祉課健康長寿推進室長（兼）地域包括支援センター次長【教育振興課教育振興室長長加藤智香子【教育振興課教育振興室長（兼）中央児童室長】▼町立病院看護専門員（兼）訪問看護ステーション訪問看護主査日下雅美【町立病院看護部長（兼）地域医療連携室長（兼）職定年】▼町立病院看護専門員笠原章子【町立病院医療安全管理室長（兼）外来看護主査（兼）地域医療連携外来看護師長（兼）医療安全管理者（兼）地域健康看護主査】

◎主査・係長級 ▼総務企画課行政管理担当主査横山真由美【総務企画課政策企画担当主査（兼）協働のまちづくり担当主査】▼総務企画課政策企画担当主査（兼）協働のまちづくり担

当主査遠藤愛【産業振興課白い森ブランド戦略担当主査（兼）観光交流推進担当主査】▼町民課国保医療担当主査片桐康代【教育振興課高校魅力化推進担当主査】▼農林振興課農政農村担当主査今美穂【総務企画課行政管理担当主査】▼総務企画課DX推進担当係長木村明宏【税務課税政管理主幹】▼総務企画課自動車運転専門技能員清野賢一【総務企画課自動車運転長】▼総務企画課係長伊藤拓也【農林振興課農政農村担当係長】▼総務企画課係長岡崎恵【総務企画課管理財担当係長】▼税務課課税担当係長佐藤正樹【教育振興課学校教育部員（兼）産業振興課白い森ブランド戦略担当係長（兼）観光交流推進担当係長】渡部智也【総務企画課係長】▼教育振興課高校魅力化推進担当係長羽田伸美【地域整備課住宅公園担当係長（兼）新潟山形南部連絡道路建設促進担当係長】▼訪問看護ステーション庶務係長青木真由美【町民課国保医療担当係長】

◎主任級 ▼総務企画課主任蛇原紘子【健康福祉課主任】▼教育振興課主任阿部理沙【総務企画課主任】▼町立病院主任看護師渡邊里香【訪問看護ステーション主任看護師（兼）町立病院主任看護師】

◎主事・主事補級 ▼会計室主事小松佳帆里【農林振興課主事】▼総務企画課主事八幡竜馬【議会事務局書記（併）監査委員事務局書記】▼総務企画課付主事伊藤澤奈【地域整備課主事】▼町民課主事金子将也【産業振興課主事】▼健康福祉課保育士長岡美和子【教育振興課中央児童室放課後児童支援員】▼産業振興課主事本間聡史【教育振興課主事】▼産業振興課主事塚原駿一郎【総務企画課付主事】▼農林振興課主事伊藤竜哉【産業振興課主事】▼農林振興課主事伊藤盛雅明【農林振興課主事】▼地域整備課主事舟山大地【町民課主事】▼地域整備課主事金歩夢【町民課主事】▼教育振興課主事梅津稀人【地域整備課主事】▼町立病院看護師伊藤由香里【介護老人保健施設看護師】▼訪問看護ステーション看護師（兼）町立病院看護師佐藤えり【町立病院看護師】▼介護老人保健施設看護師（兼）町立病院看護師木村亜沙美【町立病院看護師】▼介護老人保健施設看護師佐竹幸【訪問看護ステーション看護師（兼）町立病院看護師】

23



新町70周年記念

写真で振り返る 白い森の国おぐに No.11



⑪お花見で☆おも白い森（平成21年4月）

電興社寮周辺で開催されたこのイベントは、町内の若者が結成した「おも白い森」が企画・実施したものです。イベント当日は町内の団体によるパフォーマンスの披露や物産の販売のほか、むかし遊びを体験できるコーナー等が設けられ、子どもからお年寄りまで大勢のかたがたがお花見を楽しみました。

同団体はこのほか婚活イベントの企画・実施や小国の豊かな四季の写真を使用したポストカード作製、星空上映会や音楽イベントのサポートなど、町内を盛り上げる活動を幅広く行っていました。